

「オンライン授業評価アンケート」
に関する報告

2020年度 FD・SD 委員会

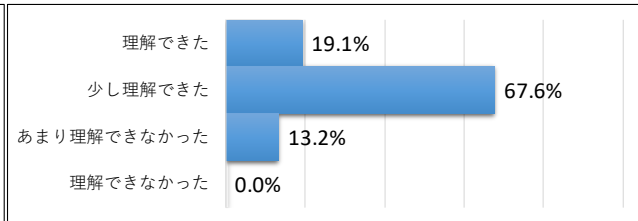
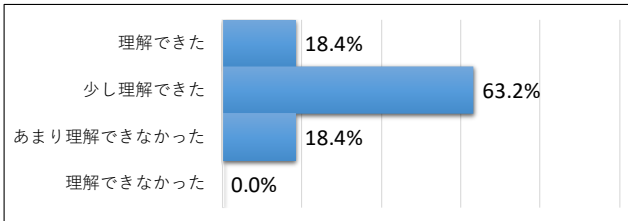
資料 1

2020年度 「オンライン授業評価アンケート」 調査結果 保育学科 1年生

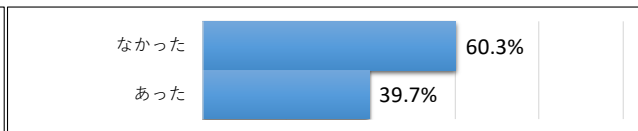
設問1・オンライン授業であなたが受講した授業内容は、理解することができましたか

保育 1年 前期 回答率 48.7% (38人)

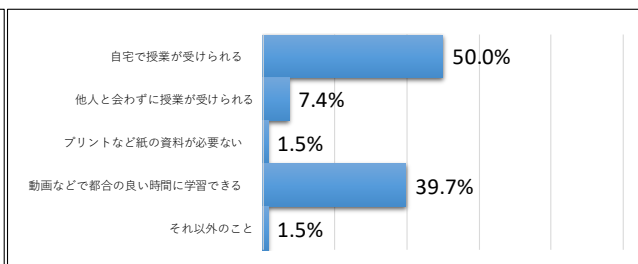
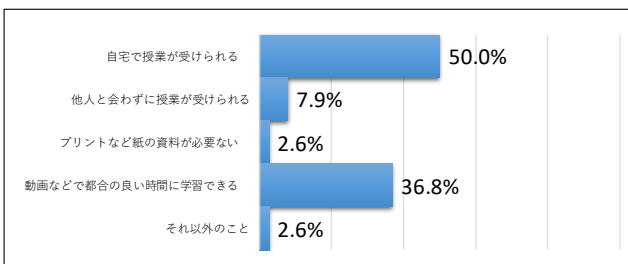
保育 1年 後期 87.2% (68人)



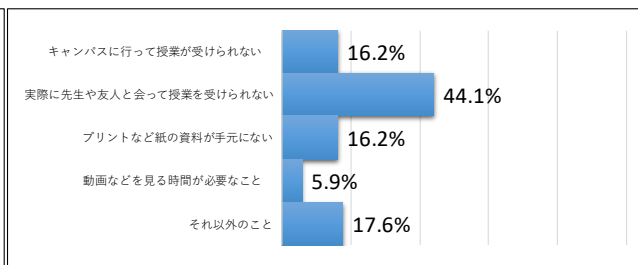
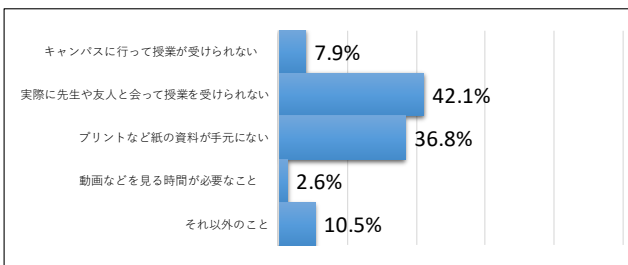
設問2-1・オンライン授業を受講する際に、何か困ったことや分からなかったことはありましたか



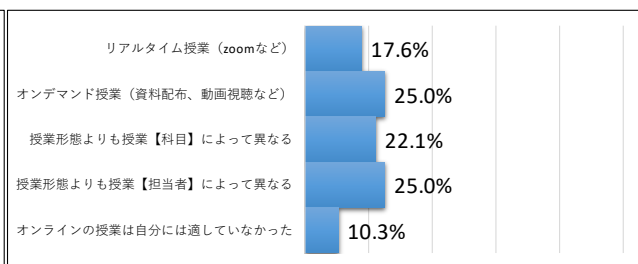
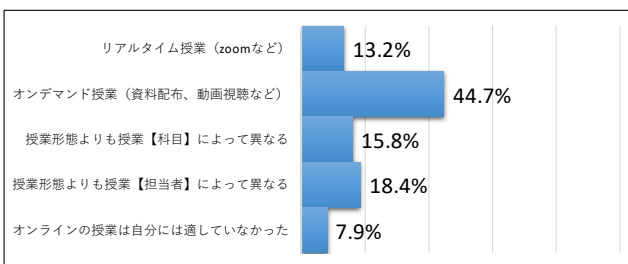
設問3-1・オンライン授業で、あなたが最も強く感じるメリット（良い点）を1つ選択して下さい



設問4-1・オンライン授業で、あなたが最も強く感じるデメリット（悪い点）を1つ選択して下さい



設問5・あなたにとって、最も学習に適していた（学修成果が得られた）と感じたのはどの授業形態でしたか



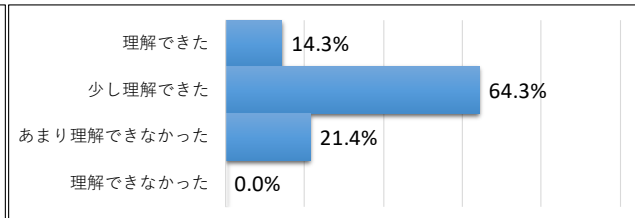
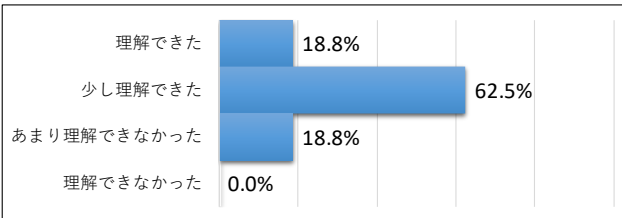
資料 2

2020年度 「オンライン授業評価アンケート」 調査結果 保育学科 2年生

設問1・オンライン授業であなたが受講した授業内容は、理解することができましたか

保育 2年 前期 回答率 51.6% (48人)

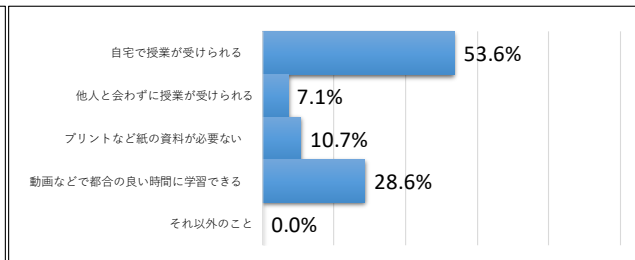
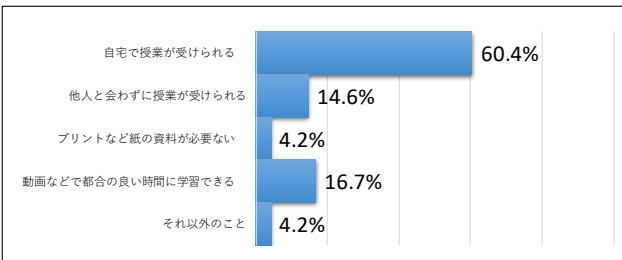
保育 2年 後期 30.4% (28人)



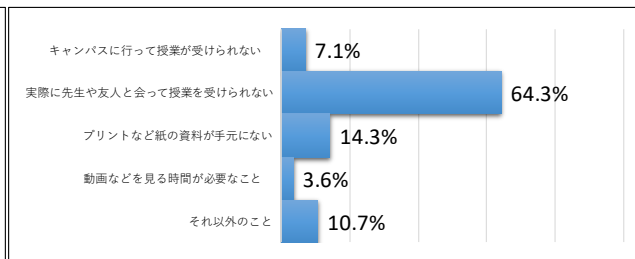
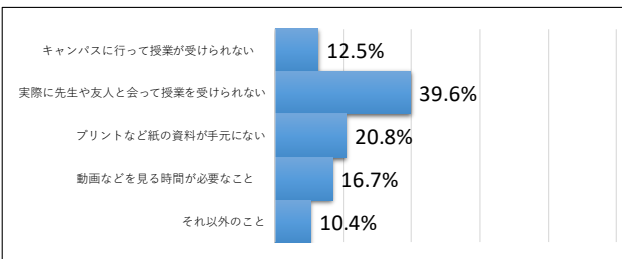
設問2-1・オンライン授業を受講する際に、何か困ったことや分からなかったことはありましたか



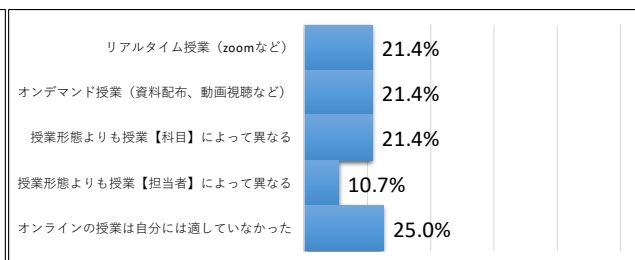
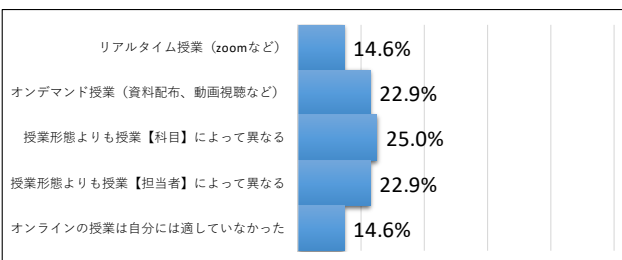
設問3-1・オンライン授業で、あなたが最も強く感じるメリット（良い点）を1つ選択して下さい



設問4-1・オンライン授業で、あなたが最も強く感じるデメリット（悪い点）を1つ選択して下さい



設問5・あなたにとって、最も学習に適していた（学修成果が得られた）と感じたのはどの授業形態でしたか



結果

◆設問 1－1

保育学科では、オンライン授業で受講した授業内容について「理解できた」「少し理解できた」の割合が1年生で前期・後期ともに80%以上、2年生でも前期は81.3%、後期でも78.6%と8割近くであった。

◆設問 2－1

1年生では前期・後期ともに60%前後の半数を超える学生がオンライン授業について「困ったこと・分からなかったことがなかった」と回答している。しかしながら、「あった」と回答した学生が40%前後いたことに対して、何らかの改善策を講じる必要があると言える。2年生では前期・後期ともに「あった」が「なかった」との回答の割合を上回った。「困ったこと・分からなかったこと」の具体的な内容として、Zoom授業におけるログインに関すること、通信状態、音声や映像に関することなどのハード面の不具合、不便さについての記述が多く見られた。また、UNI PA クラスプロファイルQ&Aに質問しても回答がすぐ返ってこなかった、オンライン授業の展開が早すぎてついていくことができなかった、授業動画がなく課題だけで理解が難しい授業があったなど、授業運営に関する記述もあった。また、2年生の記述では、スマホでは資料を画面に映されても小さくて見えなかった、分からないことが質問しづらかったなどの意見も見られた。2年生については、昨年の対面授業の経験が回答結果に反映されたことも考えられる。

◆設問 3－1

1年生では前期・後期ともに50%の学生が「最も強く感じるメリット（良い点）」を「自宅で受けられる」と回答している。2年生でも1年生同様に前期・後期とも50%以上の学生が「最も強く感じるメリット（良い点）」を「自宅で受けられる」と回答しており、次に多かった回答は「動画などで都合の良い時間に学習できる」であった。この設問の回答からは、学生がオンライン授業にメリットを感じる要素は「場所や時間の自由」と考えられる。

◆設問 4－1

「最も強く感じるデメリット（悪い点）」としては、1年生、2年生の前・後期を通して、「実際に先生や友人と会って授業を受けられない」が選択される割合が高かった。後期にはこの項目が選択される率がさらに高くなっている。これは、後期において感染対策に努めながら可能な限り対面授業を増やしたことで、学生が教員や友人と直接言葉を交わしやりとりできることの価値に改めて気づき、それが得られないことがオンラインのデメリットとして強く感じられるようになった可能性が考えられる。

◆設問 5 - 1

「最も学習に適していた授業形態」の問いに対し、1年生では「オンデマンド授業」が後期に 20 ポイント程度低下し、他の項目に回答が分散した。2年生では前期、後期ともに回答が分散する傾向が見られるが「授業形態よりも授業【担当者】によって異なる」は前期 22.9%から 10.7%に減少、「オンラインの授業は自分に適していなかった」は前期 14.6%から後期 25.0%に増加している。2年生の自由記述には、自宅で受講できることはメリットだが、学校で授業を受けたい・友達と会いたいという意見や、コロナ対策として安心で良いが、先生や友達と一緒に授業を受けられないことは辛かったなどといった、1年生時の対面授業の経験と比較する意見が複数みられた。

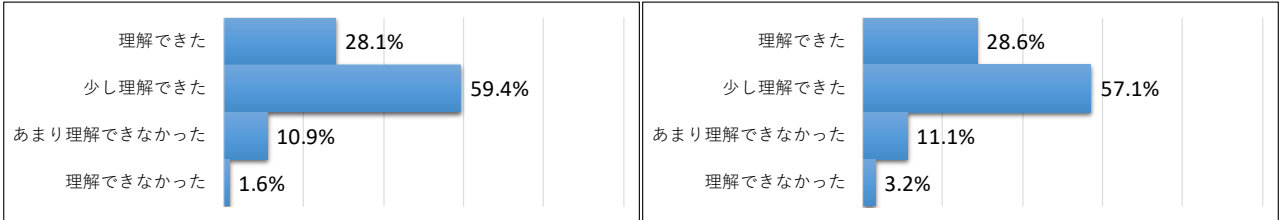
資料 3

2020年度 「オンライン授業評価アンケート」 ライフデザイン総合学科 1年生

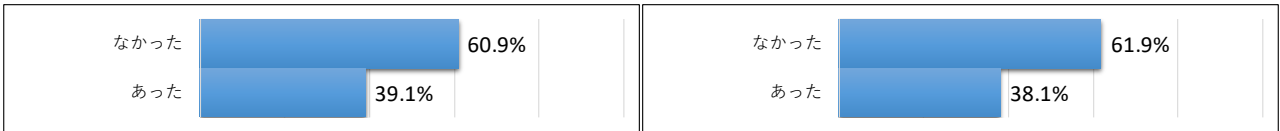
設問1・オンライン授業であなたが受講した授業内容は、理解することができましたか

ライフ 1年 前期 回答率 84.2% (64人)

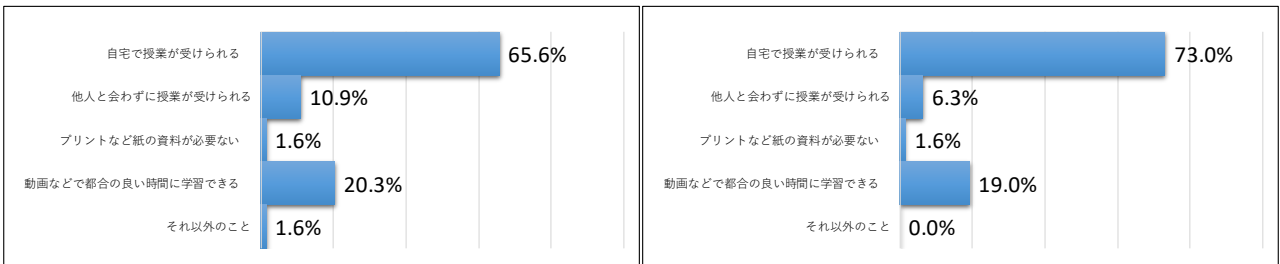
ライフ 1年 後期 85.1% (63人)



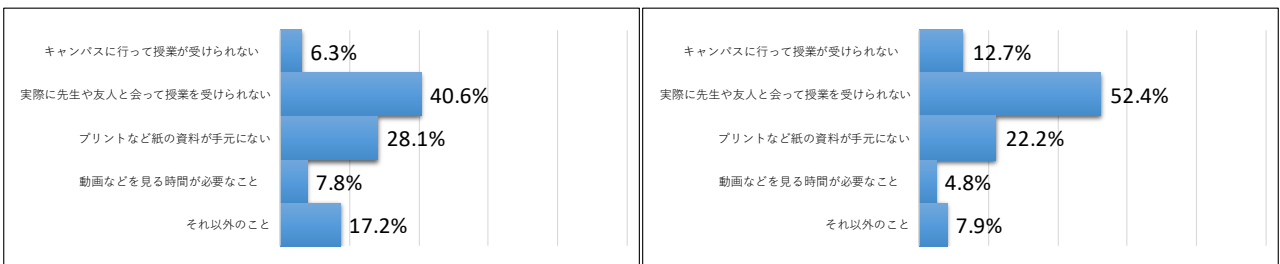
設問2-1・オンライン授業を受講する際に、何か困ったことや分からなかったことはありましたか



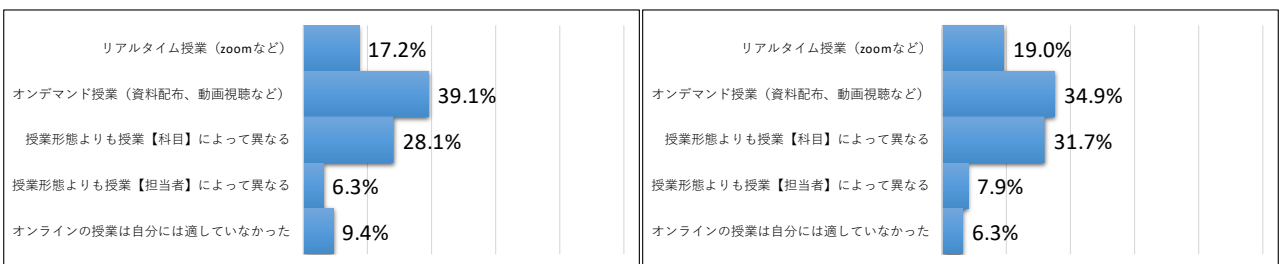
設問3-1・オンライン授業で、あなたが最も強く感じるメリット（良い点）を1つ選択して下さい



設問4-1・オンライン授業で、あなたが最も強く感じるデメリット（悪い点）を1つ選択して下さい



設問5・あなたにとって、最も学習に適していた（学修成果が得られた）と感じたのはどの授業形態でしたか



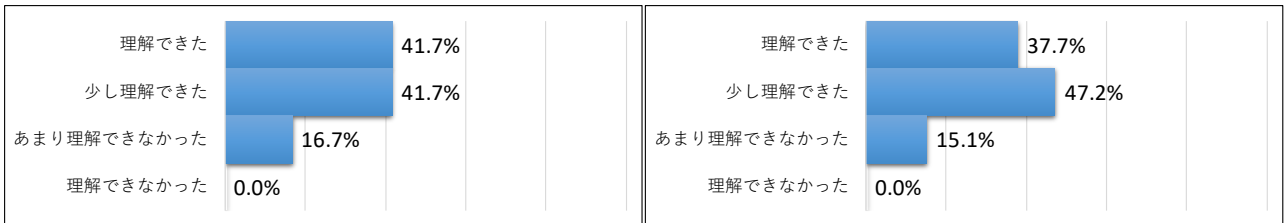
資料 4

2020年度 「オンライン授業評価アンケート」 ライフデザイン総合学科 2年生

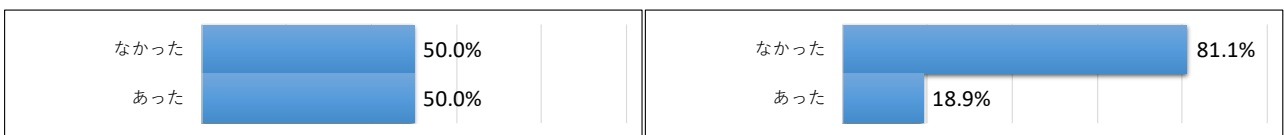
設問1・オンライン授業であなたが受講した授業内容は、理解することができましたか

ライフ 2年 前期 回答率 19.0% (12人)

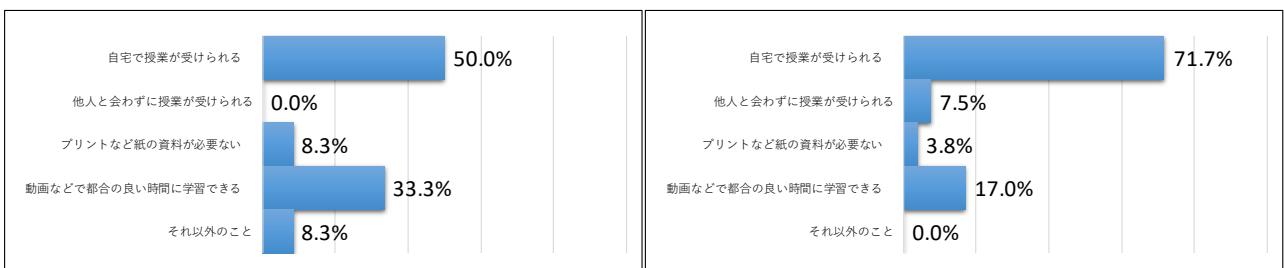
ライフ 2年 後期 86.9% (53人)



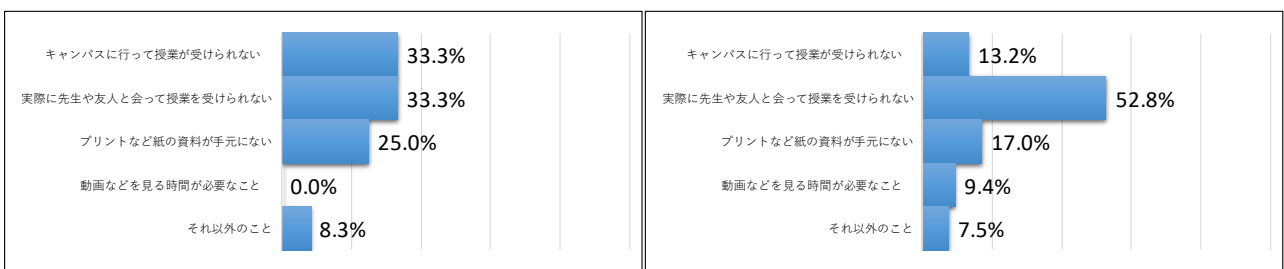
設問2-1・オンライン授業を受講する際に、何か困ったことや分からなかったことはありましたか



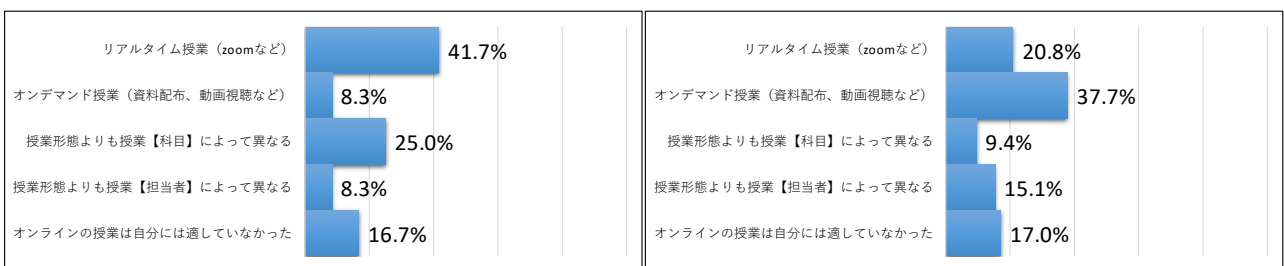
設問3-1・オンライン授業で、あなたが最も強く感じるメリット（良い点）を1つ選択して下さい



設問4-1・オンライン授業で、あなたが最も強く感じるデメリット（悪い点）を1つ選択して下さい



設問5・あなたにとって、最も学習に適していた（学修成果が得られた）と感じたのはどの授業形態でしたか



結果

◆設問 1－1

ライフデザイン総合学科では、オンライン授業で受講した授業内容について「理解できた」「少し理解できた」の割合が1年生、2年生ともに前期・後期 80%以上であった。

◆設問 2－1

1年生では前期・後期共に 60%を超える学生がオンライン授業について「困ったこと・分からなかったこと」は「なかった」と回答している。2年生では、前期に「あった」と「なかった」の回答の割合は半数ずつであったが、後期には「なかった」が 80%以上となった。

しかしながら、後期になっても「あった」と回答した学生が1年生で 40%前後、2年生の後期で 20%近くいたことに対しては、何らかの改善策を講じる必要があると考えられる。

「困ったこと・分からなかったこと」の具体的な内容として、回線の不調がたびたびあった、スマートフォンで授業を受けている人に対して課題提出などの扱いが雑に感じた、資料を映されても小さくて見えなかった、質問したいことがあってもすぐに聞けない、答えが返ってこない、など1年生、2年生ともにハード面に関することから授業内容にかかわることまで多岐にわたる記述が見られた。

◆設問 3－1

1年生の前期で 65.6%、後期で 73.0%の学生がオンライン授業で「最も強く感じるメリット（良い点）」を「自宅で受けられる」と回答している。2年生でも、前期で 50.0%、後期で 71.7%の学生が「自宅で授業が受けられる」を選択している。2年生も後期には「自宅で受けられる」の回答が突出するようになっている。次に多い選択肢については1年生2年生ともに前期・後期「動画などで都合の良い時間に学修できる」であったことから、保育学科同様オンライン授業のメリットを「場所や時間の自由」と感じていることが伺える。

◆設問 4－1

「最も強く感じるデメリット（悪い点）」としては、1年生で「実際に先生や友人と会って授業を受けられない」が前期で 40.6%、後期で 52.4%と最も高くなっている。2年生は、前期には「キャンパスに行って授業を受けられない」と「実際に先生や友人と会って授業を受けられない」が同じ 33.3%であるものの、後期になると「実際に先生や友人と会って授業を受けられない」が 50%を超えるまでに増加した。ライフデザイン総合学科でも、後期には感染対策に努めながら可能な限り対面授業を増やした経緯があり、学生は教員や友人と直接言葉を交わしやりとりできるメリットを再認識するような場面があったため、このような回答結果になった可能性が考えられる。

◆設問5－1

「最も学習に適していたと感じた授業形態」の問いに対しては、1年生でポイントの変動は見られるが前期・後期で回答の傾向が似た結果が見られた。一方、2年生では、「リアルタイム授業（zoom など）」は前期 42.0%が後期 20.8%に半減し、「オンデマンド授業（資料配布、動画視聴など）」は前期 8.0%から後期 37.7%と増加した。また、「授業形態よりも授業【科目】によって異なる」は前期 25.0%が後期 9.4%に減少、「授業形態よりも授業【担当者】によって異なる」は前期 8.0%が後期 15.1%に増加するなど、1年生と比較して前期・後期で回答項目ごとの変化が大きかった。

また、「オンライン授業は自分には適していなかった」は1年生では後期になると3ポイントほど低下したが、2年生では前期 16.7%から後期 17.0%とほぼ変動は見られなかった。自由記述には、感染予防としては良いといった肯定的な意見が1年生では複数見られるが、2年生では自宅で受けられるメリットは認めつつも、友人に会えないこと、直接教員に質問できない事などのデメリットから対面授業を望む意見が多くみられた。

まとめ

今年度はコロナ禍に見舞われる中、学生および教職員の安全を守りつつ学生の学修機会を保障するという、これまで経験したことのない難題に直面した一年であった。

両学科1年生、2年生ともに回答結果では、学生はオンライン授業に対してメリット、デメリット両面を感じつつも「授業内容の理解」について8割程度の学生から「理解できた」「少し理解できた」との回答が得られ、「オンラインの授業は自分には適していなかった」との回答は1年生で1割程度、2年生で2割程度と学年による違いはあるものの、学生も教職員も初めての経験であったオンライン授業が、学生にどのように評価されるか予想できなかったが、学修機会の保障は学生、教職員の努力によりなされたといえるのではないだろうか。

しかしながら、アンケートの結果からはオンライン授業に対する困難を訴えた学生が少なからず存在しており、前期のオンライン授業体験を経た後期において認識に変化が生じていることも伺える。また、「オンライン授業で最も強く感じるデメリット(悪い点)」では、後期に「実際に先生や友人と会って授業を受けられない」の選択率が学年学科を問わず高くなる傾向が見られたことから、前年度とは異なる受講環境に1年生と同じく2年生も苦勞したのであることが推測される。そのため、そうした学生の声にも耳を傾け、今回の授業運営を振り返ることが教職員に求められている。

一方で自由記述には、通学時間の短縮が出来る、空き時間を利用して課題に取り組める、何回も見直せるなど、オンライン授業の持つ機能性、有効性に対する好意的評価も見られるため、オンライン授業を作り上げる中で、今年度得られた授業スキルやツールを次年度以降の授業にも活用することも含め、引き続きこれからの短期大学両学科の授業改善につなげていきたい。

2020 年度 ライフデザイン基礎演習Ⅰ、Ⅱ 授業関連データ

◎ライフデザイン基礎演習Ⅰについて

ライフデザイン総合学科の1年生前期に行う必修科目

ビジネスマナーなどの知識を学ぶ内容

15回目の授業でコミュニケーション検定試験を受験する

コミュニケーション検定合格率

	受験者数	合格者	合格率
2019 年度	62 人	47 人	75.8%
2020 年度	70 人	57 人	81.4%

- ・2020年度は、検定試験以外はオンラインで授業を実施した
- ・過去5年間で合格率が80%を超えたのは初めてである

◎ライフデザイン基礎演習Ⅱについて

ライフデザイン総合学科の1年生後期に行う選択科目

就職に向けてのSPI試験非言語に対応した内容

ライフデザイン基礎演習Ⅱ テスト結果

	プレテスト	Fテスト	得点差	受験者数
2019 年度	48.5 点	62.9 点	+ 14.4 点	58 人
2020 年度	48.4 点	72.3 点	+ 23.9 点	66 人

- ・プレテスト(初回に行う実力テスト)の成績は2019年度と同様の結果であった
- ・2020年度は、プレテストとFテスト(最終回に実施するファイナルテスト)以外の授業(課題の説明、演習問題解説、質問受けなど)はオンラインで行った
- ・昨年度と比べてプレテストとFテストの得点差(得点の伸び)が大きくなった。